

「令和4年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.5)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和4年7月11日～15日（5日間）
研修先：農事組合法人宮守川上流生産組合
（遠野市）

■ 研修生について

トマトでの独立・自営就農を目指し、今後、本県へのIターンを考えるGさん。就農や、今後の生活を考える中で、最も興味がある遠野地域で研修をしたい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

遠野市上宮守地区の農地のうち、約7割を直接管理しています。

水稲は、大型機械や無人ヘリコプターなどで効率的に管理しており、大豆やミニトマト、ブルーベリー、山ぶどうも栽培しています。

地域内の農産物を原材料としたどぶろくや、トマトジュースなどの農産物加工は、高評価を得ており、県内外からの加工受託も行っています。

【HP】 <https://www.miyamori-joryu.or.jp>

【FB】 <https://www.facebook.com/miyamori.joryu/>

■ 研修の内容

就農に向けてのガイダンス、ミニトマトの管理、ブルーベリーの選別、トラクターの試乗、県・遠野市の担当者との面談など

■ 研修の感想

- ・ 遠野地域について説明いただき、就農についてのほか、移住についても相談に乗ってくださり、理解が深まりました。
- ・ 研修先や地域の皆さんのあたたかさを感じました。農業は、黙々と作業するだけというイメージでしたが、皆さんとの交流の中でそのイメージが一変し、農業における「人との関わりの大切さ」に気付くことができました。
- ・ 県・市の担当の方と面談し、就農・移住に関する支援情報や、地域の新規就農者などの紹介をしていただき、就農のイメージが少しずつ固まってきました。

■ 今後の目標等

将来の独立・自営就農を目標に、まずは雇用就農も視野に入れながら、他の経営体にも見学にいきます！

